

科目名	教育実習Ⅰ・Ⅱ	形態	実習 複数	開講期	春・秋
担当教員	柴田 篤志・吉川 範行	単位	2	年次	4

＝授業科目の目標＝

- ・実習を通し、学校教育現場を、体験的、総合的に理解する。
- ・教育実践に関する問題解決や創意工夫に必要な研究的態度と能力の基礎を形成する。
- ・授業、学級経営、生徒指導等を体験し、教師としての適性、資質を自覚する。
- ・教師の仕事の魅力、大変さを知り、その上で、教師になる夢の実現を目指す。

＝履修の条件と学習の方法＝

教育実習の単位は2単位であるが、教育実習前後に開講される事前、事後指導の1単位とあわせて3単位または5単位の修得により認められる。教育実習事前指導の時間を通して会得した実習心得の下に、実習に参加し、事後指導を受講することが必要条件である。また、教育実習が許可されるには、教員採用試験を受験することが前提となる。

＝授業内容＝

実習内容は教育実習校の計画に依る。
教育実習に致るまでに習得した知識や技能を実際の授業、学級経営、生徒指導等に生かすべく創意工夫し、一日の実習終了時に自己評価することで次の日の課題とする。これを実習期間中繰り返し、教育実習校側の指導と評価による自己変革に努める。教育現場の実態と自らの資質・力量とを直接経験に基づいて見つけ、教職志望の糧とする。なお、実習期間中に大学教官による実習校訪問を実施し、実習校との連絡、調整等を図る。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

教育実習校校長による「生徒指導」「学習指導」「学習態度」「教育実習出勤の状況」による評価と教育実習終了後の「教育実習記録」、教育実習に関するレポート等を総合して評価する。

＝テキスト（必携）＝

特になし